

4 本時の学習

- (1) 目標 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、歌唱表現を創意工夫して歌う。
 (2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>① 前時を振り返って、1, 2番を歌う。</p> <p>② 「花の街」の3番の歌詞が表す情景や心情を想像する。</p> <p>◇ 1番の歌詞と比べて、悲しい言葉を使っている。</p>	<p>○ 前時までの学びを振り返ったり、歌詞が表している情景や心情について話し合ったりして、それらを思い浮かべながら「花の街」を歌うことができるようにする。</p> <p>めあて 「花の街」の曲想を感じ取って表現を工夫しよう。</p> <p>(「問い」を生み出す手立て等)</p> <p>○ 1, 2番の歌詞と対比して、3番の歌詞の特徴を捉えられるようにする。</p>
展開	35分	<p>2 学習活動する。</p> <p>① 思いが込められて</p> <p>② 個人で、強弱などの表現の工夫を考える。</p> <p>③ 個人で、強弱などの表現の工夫を考える。</p> <p>④ 班で歌いながら、ふさわしい表現の工夫を練習する。</p> <p>◇ 前時までの学びを振り返り、3番の歌詞に込められた思いを感じながら、まず自分の考えを持てるようにする。</p> <p>⑤ 発表しながら意見を広める。 1, 2番との対比についても、発表の中から適宜行う。</p>	<p>【学習課題】 3番の歌詞に合う表現をするためには、1, 2番と対比させどのような工夫をして歌おうか。 (強弱、音色)</p> <p>【具体的評価規準】 思① 内容から感じ取ったイメージを自分なりに理解し、思いや意図をもって表現の工夫に繋げている。 方法：ワークシートの記述</p> <p>【到達していない生徒(グループ)への手立て】 ① 強弱の加減や言葉の扱いを変化させて歌うなどしながら、3番の歌詞にふさわしい表現について対話し、よりふさわしい表現を求めることができるようにする。</p> <p>【具体的評価規準】 態① ○ 創意工夫を生かした表現をするために自分の意見を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。又、学習全体を振り返り、自らの学びを踏まえて記述している。 (方法：ワークシートの記述・発言)</p>
終末	10分	<p>3 まとめる。</p> <p>【まとめ】 曲想(歌詞)に合う歌唱表現にするためには、(言葉の発音 や 強弱) を工夫する など。</p> <p>4 学習したことを振り返る。 ・ 1番から3番まで歌う。</p>	<p>○ 生徒の表現の工夫を基にまとめ、それを生かして歌うよう促す。</p> <p>○ 生徒の歌を聴いて、最初の頃の曲の捉え方から変化してきた部分や思いが伝わった部分を伝える。</p>